



第142号

(昭和47年2月・3月号)

目 次

学 長 告 辞	1
関 係 法 令	2
学 内 規 則	2
富山大学大学院工学研究科規則の一部改正	2
諸 会 議	2
人 事 異 動	3
学 内 諸 報	4
薬学部長の改選	4
教養部長の改選	5
附属図書館長の改選	5
教育学部附属学校長の改選	5
文部省会計実地監査	5
文部省共済組合実地監査	5
学位取得者	5
学内レクリエーション	6
富山地区R連盟大会	6
叙位・叙勲	6
職 員 消 息	6
主 要 日 誌	7

昭和46年度卒業式学長告辞

本日ここに昭和46年度学部卒業生および専攻科修了生諸君の卒業の門出を迎えるにあたり、衷心よりお祝いを申し上げます。またこの慶びの日を迎えるまでに払われたご父兄のご辛苦に対しては深い敬意と感謝の意を表したいと思ひます。

諸君の大部分はこの四年間、また専攻科の諸君はその上さらに一年間の大学生活を終え、高い教養と、高度の専門技術を身につけられたのであります。諸君の小学校に始まる長い学園生活もこれで終りいよいよ明日より新しい人

生にスタートされることとなりました。

昨年後半以来、世界の経済界は変動期を迎え、当然我が国もその混乱に巻き込まれました。戦後、荒廃より立ち直った我が国の産業界は急速なる技術革進により次第に先進国に追いつき国富の増大と国民生活の向上にも寄与してきました。それらの技術は本来外国に依存し輸入によるものですが、今日ではわが国の技術は単に模倣だけではなく、それぞれの分野で多くの技術者の協力により工夫改良され、我が国で発展したものであります。これは、例えば西欧文明の基礎となったと考えられる金属活字が、東洋で早期に発明されたものであり、それが西洋へ嚆として伝えられ、半世紀余りも遅れて発明されたことになっているという事実にもうかがわれ、私も最近そのことを知って驚いている次第であります。最近、盛んに使用されているキャタピラは無限軌道として既に明治の末頃に富山で開発され、それが海外で盛んに活用されて再び逆に日本に上陸したもので、私なども海外技術であるかのように思っております。その他これに類することも多いことでしょう。今後、情報が迅速に得られるとはいえ、多くの技術者が常に協力して一つの技術を多方面に活用することが益々必要であります。

諸君は社会人として今後活躍されるにあたり、共同者のみならず多くの人との和が大切であります。その点、諸君は研究は勿論各種のスポーツにおいて、あるいはその他のクラブ活動においても十分に体得せられたことでしょう。

すでに最高の教育と研究法を学ばれたと同時に、充分教養を身につけられたのですから、諸君を迎える社会において、それがたとえ少人数の課内係内であってもその平和を乱さぬよう心がけると同時に更に人間味豊かな人格を形成され、常にその中心的人物として、良きリーダーとなられるよう期待致します。

諸君が入学された時はおりあしく全国的大学紛争のさなかであり在学中の勉強についても不満があったことでしょう。しかしその間いろいろと考えさせられたこと、経験されたことなど、考えようによっては却って今後の人生にプラスとなるとも思われます。

大学の整備も紛争などのため遅れましたが、図書館の新築や用地の購入など決定し、だんだんと改革出来ることは改革して参りますので、卒業後も諸君の御支援を得たく、また時折りは母校を訪ね、永く心のふるさととされるよう希望致します。

最後に十分に健康に留意されて“生涯教育。”という言葉もあるように何によらず今後も研鑽を続けて社会人類の福祉に貢献する人生を送られるよう希望して私の告辞と致します。

昭和47年3月18日

富山大学長 後藤 秀弘

関係法令

政 令	(官報掲 載月日)
建築基準法第4条第1項の人口25万以上の市を指定する政令の一部を改正する政令(25)	2・28
国立大学の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令(48)	3・31
国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令(49)	3・31
省 令	
学校基本調査規則の一部を改正する省令(文部1)	2・1
学校教育法施行規則の一部を改正する省令(同2)	2・10
保険医療機関及び保険薬局の療養の給付に関する費用の請求に関する省令等の一部を改正する省令(厚生4)	2・23
大学設置基準の一部を改正する省令(文部5)	3・18
学校教育法施行規則の一部を改正する省令(同6)	3・18
国家公務員共済組合法施行規則等の一部を改正する省令(大蔵11)	3・29
国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令(同12)	3・29
訓 令	
文部省会計事務取扱規程の一部を改正する訓令(文部1)	2・18
文部省債権管理事務取扱規程の一部を改正する訓令(同2)	2・18
文部省所管物品管理事務取扱規程の一部を改正する訓令(同3)	2・18
文部省所管国有財産取扱規程の一部を改正する訓令(同4)	2・18
文部省宿舍事務取扱規程の一部を改正する訓令(同5)	2・18
文部省所轄の会計機関の事務の一部を処理させる職員の範囲等を定める規則(同6)	2・18
教頭を置く国立大学の学部の附属幼稚園を指定する訓令の一部を改正する訓令(同7)	3・31
規 則	
計算証明規則の一部を改正する規則(会計検査院2)	2・3
職員の保健及び安全保持の一部を改正する規則(人事院10-4)	3・6
非常勤職員の給与の一部を改正する規則(同9-1)	3・31

学内規則

富山大学大学院工学研究科規則の一部改正

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和47年 3 月17日

富山大学長 後藤 秀弘

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院工学研究科規則(昭和42年 5 月19日制定)の一部を次のように改正する。

別表の機械工学専攻中、「| 輸送現象特論 | 2 |」を削る。

別表の生産機械工学専攻中、「| ○生産機械工学演習及び実験 | 4 |」を「| ○生産機械工学演習 | 2 |
| ○生産機械工学実験 | 2 |」に改める。

別表の化学工学専攻中、「| ○化学工学演習及び実験 | 4 |」を「| ○化学工学演習 | 2 |
| ○化学工学実験 | 2 |」に改める。

附 則

この規則は、昭和47年 3 月17日から施行し、昭和46年 4 月1日から適用する。

諸 会 議

第16回評議会 (2月4日)

(報告事項)

(1) 臨時国立大学事務局長会議の模様について

(審議事項)

(1) 教官人事について

(2) 教官定員の削減について

(3) 昭和47年度富山大学経済学専攻科入学者選抜試験合格者の判定について

(4) 学生追加募集要項について

第6回大学院委員会 (2月18日)

(審議事項)

(1) 昭和47年度富山大学大学院薬学研究科および工学研究科(修士課程)第2次入学試験合格者の判定について

(2) 行事予定について

第2回教養部運営協議会 (3月3日)

(審議事項)

- (1) 富山大学教養部長候補者の選考について
(2) 3年、4年次学生の教養部の単位について
第2回協議会
(審議事項)
(1) 教養部長候補者の選考について
第17回評議会 (3月3日)
(報告事項)
(1) 昭和47年度富山大学大学院薬学研究科および工学研究科(修士課程)第2次入学試験合格者について
(2) 持ち廻り評議会(富山大学理学専攻科入学者選抜試験合格者の判定)について
(3) 昭和47年度入学試験の実施について
(4) 国大協第3常置委員会について
(審議事項)
(1) 教官の定員削減について
(2) 教官人事について
第18回評議会 (3月15日)
(審議事項)
(1) 学生問題について
第7回大学院委員会 (3月16日)

- (審議事項)
(1) 昭和46年度富山大学大学院薬学研究科および工学研究科(修士課程)修了者の認定について
(2) 富山大学大学院工学研究科規則の一部改正について
第19回評議会 (3月17日)
(報告事項)
(1) 昭和46年度富山大学大学院薬学研究科および工学研究科(修士課程)修了者の認定について
(2) 持ち廻り評議会(富山大学教育専攻科入学者選抜試験合格者の判定)について
(3) 入学試験の実施について
(審議事項)
(1) 昭和46年度卒業および修了者認定について
(2) 富山大学大学院工学研究科規則の一部改正について
(3) 非常勤講師手当について
(4) 国費、自費沖縄学生の受け入れについて
第10回事務協議会 (3月21日)
(議題)
(1) 入学試験の実施について
(2) 事務連絡(各課)

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 者
文 部 事 務 官 (薬 学 部)	高 見 春 男	文部技官に配置換する	47.1.1	富山大学長
"	藤 野 広 春	"	"	"
技 能 員 (薬 学 部)	栗 山 政 彦	技術員に配置換する	"	"
	高 尾 清 美	事務補佐員(経営短期大学部)に採用する	47.2.4	富山大学経営短期大学部学長
	奥 井 千佳子	事務補佐員(庶務部庶務課)に採用する	47.2.7	富山大学長
	高 倉 弘 一	事務補佐員(経済学部)に採用する	"	"
助 教 授 (教 育 学 部)	松 為 周 従	教授(教育学部)に昇任させる	47.2.1	文 部 大 臣
"	加 藤 寿美子	"	"	"
"	野 村 昇	"	"	"
事 務 補 佐 員 (経 済 学 部)	民 谷 紀代美	施設課に配置換する	"	富山大学長
文 部 事 務 官 (経 済 学 部)	麻 生 友 治	国立能登青年の家に出向させる	"	"
事 務 補 佐 員 (教 養 部)	永 原 紀 子	辞職を承認する	47.2.8	"
事 務 補 佐 員 (庶 務 部 庶 務 課)	今 井 啓 子	"	47.2.11	"

助(工学部)手 部)	干 場 脩 司	辞職を承認する	47.2.15	富山大学長
助(薬学部)手 部)	井 上 正 美	助教授(薬学部)に昇任させる	47.2.16	文 部 大 臣
事務補佐員 (施設課)	山 本 順 子	辞職を承認する	"	富山大学長
教(文理部)授 部)	小 林 貞 作	富山大学附属図書館長に併任する 富山大学評議員に併任する (併任の期間47.2.20～49.2.19)	47.2.20	文 部 大 臣
文部事務官 (庶務部庶務課)	堀 口 勲	経済学部配置換する	47.3.1	富山大学長
事務補佐員 (学生部学生課)	濱 野 松 男	事務員(庶務部庶務課)に採用する	"	"
事務補佐員 (庶務部庶務課)	藤 岡 悦 子	昭和47年3月30日限り退職した	47.3.31	"
事務補佐員 (文理部)	堀 川 明 路	"	"	"
事務補佐員 (工学部)	岡 田 雅 子	"	"	"
事務補佐員 (教養部)	堀 井 由 紀	"	"	"
事務補佐員 (附属図書館)	田 島 富 子	"	"	"
教(教養部)授 部)	藤 田 賢 治	辞職を承認する	"	文 部 大 臣
助(薬学部)手 部)	棚 田 成 紀	"	"	富山大学長
文(工学部)技 官部)	中 谷 隆 雄	"	"	"
文(薬学部)技 官部)	脇 浩 子	"	"	"
文部事務官 (附属図書館薬学専門図書係長)	多 賀 政 信	"	"	"
文部事務官 (教育学部作業員)	栗 林 繁 治	"	"	"
用(工学部)員 部)	三 上 は り	"	"	"
教(教育学部)授 部)	蜷 川 栄 作	昭和47年3月31日限り停年により退職した	47.4.1	文 部 大 臣
教(工学部)授 部)	村 中 利 吉	"	"	"
講(工学部)師 部)	岡 田 衆 二	"	"	富山大学長
事務補佐員 (薬学部)	藤 本 明	昭和47年3月31日限り退職した	"	"
技術補佐員 (経理部主計課)	中 田 元 男	"	"	"

学 内 諸 報

薬学部長の改選

永原学部長の任期が3月31日付けで満了することにより、2月23日後任候補者の選挙が行なわれた結果、山崎教授が第6代薬学部長に選ばれ、4月1日付けで就任した。

山崎教授は昭和20年9月東京帝国大学医学部薬学科を卒業、21年2月、旧富山薬学専門学校教授嘱託同年6月同校助教授、23年3月同校教授、25年4月富山大学助教授(薬

学部)、36年3月教授に昇任、現在本学薬学部、薬品製造化学講座主任教授、本学大学院薬学研究科製薬化学専攻担任教授である。

また、昭和37年4月～42年5月、46年6月～47年3月の4期にわたり富山大学評議員を併任された。

なお、同教授は昭和34年6月学位論文「アザベンゾキノリチン類の合成に関する研究」により薬学博士の学位を取得。富山県出身。当年49歳。

教養部長の改選

梅原教養部長の任期満了に伴う教養部長候補者を推薦する選挙は、2月23日に教養部会議室で行なわれ、教養部白井芳朗教授が選ばれた。

3月3日教養部運営協議会、同日協議会の議を経て、教養部長候補者に決定し、4月1日付けで就任された。

白井芳朗教授は、京城帝国大学予科から京城帝国大学法文学部法学科に進み、昭和6年3月同部を卒業、昭和7年4月再び京城帝国大学法文学部文学科に入学、同9年3月卒業された。

ついで関東庁大連第二中学校教諭、朝鮮景福公立中学校教諭、天津日本中学校教諭を経て、昭和21年3月内地に引揚げ、同22年2月富山師範学校教授に補せられ、同26年富山大学助教授（教育学部）、同43年4月1日富山大学教授（教養部）に昇任、現在に至った。この間教養部運営協議会委員、補導協議委員、富山大学大学問題対策本部員等をつとめた。専門は英語。東京都出身。

附属図書館長の改選

杉本新平附属図書館長の任期満了にともなう後任候補者の選考は、1月21日開催の協議会において、かねて附属図書館商議会が推せんした3候補の中から行なわれた。

その結果、文理学部的小林貞作教授が次期附属図書館長に選ばれ、2月20日付けで就任した。

小林新館長は、昭和20年9月名古屋帝国大学理学部生物学科を卒業、ひきつづき同大学にとどまり研究に従事、昭和22年4月文部教官に任官、昭和28年4月富山大学文理学部助教授、昭和40年4月教授に昇任、現在に至っている。

この間、本学において科学教育研究室指導員、放射性同位元素委員会委員、文化部会委員、放射性同位元素総合実験室放射線取扱主任代理者、特別教職課程委員会委員をつとめ、評議員を併任する一方、昭和33年8月にはカナダ、アメリカ合衆国へ、昭和39年5月にはイタリア、西ドイツ、フランス連合王国、オランダ、スウェーデンおよびスイスの各国へ外国出張している。

また、昭和33年に理学博士の学位を受けた。専門は細胞生物学。50歳。山形県出身。

教育学部附属学校長の改選

教育学部附属小学校長（附属幼稚園長兼務）林三雄、同附属中学校長黒坂富治の両教授は、3月31日で任期満了となるため、2月23日選挙を行なった結果、附属小学校長は再選、附属中学校長には高野兼吉教授が選出された。

両校長の略歴次のとおり

附属小学校長（兼附属幼稚園長）

林 三雄

昭和15年京城帝国大学法文学部卒業の後、福成興師範学校教諭、富山県立魚津高等女学校教諭、富山県立滑川高等学校教諭、富山師範学校教授、富山大学助教授、同教授を経て、昭和43年現職に選ばれ現在に至る。

高野 兼吉

昭和18年東京文理科大学学士試験合格の後、和歌山師範学校教授、富山師範学校教授、富山大学助教授、同教授を経て現在に至る。

文部省会計実地監査

文部省所管会計経理事務取扱通則第5条の規定にもとづき、本学の国有財産実地監査が下記のとおり実施されたが、指摘された事項もなく良好な成績で終了した。

記

1. 監査実施年月日 昭和47年3月6日～7日
2. 監 査 員 小 村 正 彦
八重畑 義三郎
3. 監 査 事 項 イ、財産管理の状況
ロ、土地取得の処理状況
ハ、国有財産事務運営の状況

文部省共済組合実地監査

昭和46年度の監査は、昭和45年度及び昭和46年度の全経理を対象に下記のとおり実施されたが、指摘された事項もなく良好な成績で終了した。

1. 監査実施年月日 昭和47年3月8日
2. 監 査 員 文部省福利課
桜 井 達 祐
牧 登

学 位 取 得 者

取 得 者 工学部講師 小林信之
取 得 学 位 工学博士（名古屋大学）
取得年月日 昭和47年1月31日
学 位 論 文 メルトからの結晶成長に関する理論的研究

取 得 者 工学部助教授 宮下 尚
取 得 学 位 工学博士（京都大学）
取得年月日 昭和47年3月23日
学 位 論 文 蒸発冷却器に関する研究

取 得 者 工学部講師 龍山智榮
取 得 学 位 工学博士（大阪大学）
取得年月日 昭和47年3月25日

学位論文 層状半導体 GaSe および GaTe の電氣的光電
的特性に関する研究

学内レクリエーション

▶囲碁大会

実施月日 2月5日(土)午後1時～同10時

場 所 職員ホール

入 賞 者 (A組)

優勝 松本 賢一(文)

次勝 金坂 績(文)

三位 高木光司郎(文)

(B組)

優勝 草島 幸雄(図)

次勝 堀 重男(薬)

三位 佐伯 信男(施)

(C組)

優勝 荒屋 克子(文)

次勝 黒田 信吉(養)

三位 奥井 三郎(経)

▶将棋大会

実施月日 2月12日(土)午後1時～同6時

場 所 職員ホール

入 賞 者 優勝 多々良陽一(工)

次勝 高木光司郎(文)

三位 畠山 豊正(工)

▶バドミントン大会

実施月日 2月26日(土)午後1時～同5時

場 所 新体育館

入 賞 優勝 工学部チーム

次勝 本部チーム

三位 薬学部チーム

富山地区R連盟大会

▶囲碁・将棋大会

実施月日 2月26日(土)午後1時～同8時30分

場 所 富山県民会館 702号室

入 賞 者 (本学関係)

囲碁B級

優勝 草島 幸雄(図)

将棋

優勝 多々良陽一(工)

次勝 尾山 吉昭(工)

叙位・叙勲

故元教養部教授 平田 一郎

正四位に叙し勲三等瑞宝章を授ける

昭和47年1月1日内閣

故元薬学部講師 野島俊二郎

正四位に叙し勲三等瑞宝章を授ける

昭和47年2月28日内閣

職員消息

〈新任者〉

庶務部庶務課

事務補佐員 奥井千佳子

経済学部

事務補佐員 高倉 弘一

経営短期大学部

事務補佐員 高尾 清美

〈改姓〉

工 学 部

事務補佐員 田中 洋子 (旧姓・山崎)

教 養 部

事務補佐員 堀井 由紀 (旧姓・中山)

〈住所変更〉

文理学部

文 部 技 官 小川ミツ子

教育学部

技 能 員 福村 一男

教務補佐員 川田美佐子

薬 学 部

教 授 長谷 純一

文部事務官 平岩 廣一

工 学 部

事務補佐員 田中 洋子

教 養 部

講 師 鴨野 幸雄

事務補佐員 堀井 由紀

主 要 日 誌

本 部

- 2 月 3 日 文化部会、体育部会合同会議
 4 日 第16回評議会
 第 4 回入学試験管理委員会
 5 日 学内囲碁大会
 8 日 放射性同位元素総合実験室運営委員会
 10日 学園ニュース編集委員会
 12日 学内将棋大会
 15日 第 3 常置委員会（於国大協会議室）
 学園ニュース編集委員会
 17日 授業料減免選考委員会
 補導協議会
 18日 第 6 回大学院委員会
 24日 日本育英会事務打合せ会議
 24～25日 臨時東海北陸地区国立大学事務局長会議
 （於三重大学）
 25日 会計係長会議
 26日 学内バドミントン大会
 28日 理学視学委員による文理学部理学科実地視察
 29日 第 5 回入学試験管理委員会
 3 月 2 日 学園ニュース編集委員会
 3 日 第 2 回教養部運営協議会
 第 2 回協議会
 第17回評議会
 6～7 日 文部省会計実地監査
 8 日 文部省共済組合実地監査
 9 日 会計経理事務内部監査（22日まで）
 10日 学園ニュース編集委員会
 15日 第18回評議会
 第 6 回入学試験管理委員会
 16日 第 7 回大学院委員会
 17日 昭和46年度大学院修士学位記授与式
 第19回評議会
 21日 第10回事務協議会
 22日 構内立入禁止（24日まで）
 23～25日 昭和47年度入学者選抜試験

文 理 学 部

- 2 月 9 日 選考委員会（形態学）

- 2 月10日 昭和47年度富山大学理学専攻科入学者選抜試験
 12日 選考委員会（英語学）
 14日 選考委員会（物理化学）
 16日 教授会
 文学科教官会議
 19日 理学専攻科入学者選抜試験合格者発表
 21日 理学科教官会議
 23日 人事教授会
 理学科（2 年次）後学期授業終了
 24日 理学科教官会議
 26日 理学科教官会議
 28日 理学視学委員による理学科実地視察
 3 月 1 日 理学科教官会議
 2 日 理学科教官会議
 3 日 文学科後学期授業終了
 6 日 入学志願者健康診断書審査
 7 日 理学科教官会議
 8 日 入学志願者調査書審査
 選考委員会（構造化学および形態学）
 9 日 会計経理事務内部監査
 11日 理学科（4 年次）後学期授業終了
 14日 教授会
 人事教授会
 15日 選考委員会（結晶物理学）
 18日 文学科および理学専攻科卒業・修了証書授与
 21日 教授会
 人事教授会
 入学試験実施打合せ会
 23～24日 入学者選抜試験
 29日 理学科教官会議
 30日 学部補導委員会
 31日 理学科卒業証書授与

教 育 学 部

- 2 月 2 日 教務委員会
 紀要編集委員会
 人事教授会
 3 日 附属学校運営委員会
 5～12日 附属幼稚園入園願書受付
 7 日 附属学校運営委員会
 7～14日 附属小学校入学願書受付
 9 日 教務委員会
 人事教授会
 14日 附属幼稚園入園志願者抽選
 14～22日 附属中学校入学願書受付

- 2月16日 人事教授会
 17日 附属小学校入学志願者発育検査
 18～26日 教育専攻科入学願書受付
 18日 附属小学校入学志願者発育検査結果発表
 21日 幼稚園教員養成課程設置準備委員会
 附属小学校入学志願者抽選
 22～23日 附属幼稚園教育実習
 23日 教務委員会
 教授会
 附属学校長候補者選挙
 25日 北陸地区事務長会議
 26日 人事教授会
 27日 附属中学校入学志願者筆記考査
 28～29日 附属幼稚園教育実習
 29日 附属中学校入学者発表
 3月1日 紀要編集委員会
 1～2日 附属幼稚園教育実習
 4日 教育専攻科入学者選抜試験
 7日 養護学校教員養成課程検討委員会
 8日 教務補導合同委員会
 人事教授会
 教授会
 9日 予算委員会
 10日 会計経理事務内部監査
 調査書審査委員会
 13日 教育専攻科入学者合格発表
 幼稚園教員養成課程設置準備委員会
 14日 教務補導合同委員会
 教授会
 15日 附属幼稚園卒業式
 附属幼稚園第3学期終業式
 16日 人事教授会
 附属小学校卒業式
 17日 附属中学校卒業式
 18日 昭和46年度教育学部卒業式
 22日 附属小学校第3学期終業式
 附属中学校第3学期終業式
 23～25日 入学者選抜試験

経済学部

- 2月2日 第4回学部補導委員会
 8日 第24回教務委員会
 9日 第20回教授会（臨時）
 第14回人事教授会
 16日 第25回教務委員会

- 3月1日 第15回人事教授会
 第26回教務委員会
 8日 第21回教授会（臨時）
 第27回教務委員会
 10日 会計経理事務内部監査
 13日 第16回人事教授会
 15日 第22回教授会
 第28回教務委員会
 22日 第17回人事教授会
 23～24日 入学者選抜試験

薬学部

- 2月2日 教授会
 庶務事務監査
 3日 学部図書委員会
 人事教授会
 4日 和漢薬研究施設運営委員会
 8日 教務委員会
 学部レクリエーション委員会
 9日 予算委員会
 教授会
 薬学研究科委員会
 12日 学部予餞会
 15～16日 大学院薬学研究科第二次試験
 16日 薬学研究科委員会
 17日 学部補導委員会
 18日 大学院薬学研究科第二次試験合格発表
 19日 大学院後学期授業終了
 22日 特別講演会
 学部後学期授業終了
 23日 学部長候補者選挙
 教授会
 28～29日 修士論文発表会
 29日 学部補導委員会
 3月1日 講座連絡会議
 7日 教務委員会
 8日 教授会
 人事教授会
 薬学研究科委員会
 9日 会計経理事務内部監査
 事務改善委員会第1部会
 10日 人事教授会
 13日 教授会（卒業認定）
 人事教授会
 17日 入試説明会

3月22日 人事教授会
23～24日 入学者選抜試験
29日 人事教授会

工 学 部

2月2日 工学研究科委員会
5日 学部内将棋大会
14日 学部学生(補導)委員会
16日 一般教授会
17日 工学研究科委員会
専任教授会
26日 専任教授会
3月8日 一般教授会
専任教授会
14日 一般教授会
工学研究科委員会
専任教授会
16日 会計経理事務内部監査
18日 卒業式および祝賀会
23～24日 入学者選抜試験

教 養 部

2月2日 部長候補者選挙管理委員会
教授会
教授のみの教授会
4日 服務関係調査
7日 教授会
9日 教務委員会
10日 学部補導委員会
15日 学生大会(2月16日より無期限ストに突入)
16日 教授会
21日 教授のみの教授会
23日 部長候補者選挙管理委員会
部長候補者選挙
教授会
24日 事務改善委員会第2部会
3月7日 教務補導合同委員会
8日 教授会
9日 事務改善委員会第2部会
11日 補導委員会
14日 教授会
会計経理事務内部監査
21日 補導委員会
22日 早朝機動隊による部内検証。教養部玄関封鎖解除

除
3月22日 教授のみの教授会
教授会
30日 教授のみの教授会

附属図書館

2月7日 服務関係事務調査
8日 時間外開館休止
19日 杉本附属図書館長任期満了
20日 附属図書館長に小林貞作教授併任発令
25日 事務打合せ会
3月3日 事務打合せ会
7～9日 昭和46年度大学図書館研究集会
(於国立教育会館)
14日 会計経理事務内部監査
16日 事務打合せ会

経営短期大学部

2月2～8日 後学期末試験
3～10日 推せん入学願書受付
8日 第14回教授会
14～23日 入学願書受付
18日 第15回教授会(推せん入学の可否判定)
26日 予餞会(学生会館)
3月4日 入学試験委員会
7日 第16回教授会(卒業認定)
8日 編入学試験
12日 入学者選抜試験
16日 第17回教授会(入学者の可否判定)
入学者選抜試験合格者発表
25日 第11回卒業式

編 集 富 山 大 学 庶 務 部 庶 務 課
富山市五福 3190

印刷所 株式会社 巧 亭 舎
富山市新桜町 2-22
電話 ☎ 1977(代)

